



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場会社名 株式会社カチタス 上場取引所 東
 コード番号 8919 URL <http://katitas.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井 健資
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 横田 和仁 TEL 03-5542-3882
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	66,599	8.8	7,612	5.5	7,451	5.6	5,014	4.7
2019年3月期第3四半期	61,213	18.0	7,217	27.5	7,057	37.3	4,787	39.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,014百万円 (4.7%) 2019年3月期第3四半期 4,787百万円 (39.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	131.44	128.64
2019年3月期第3四半期	127.61	122.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	49,807	22,467	44.9
2019年3月期	47,406	19,348	40.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 22,363百万円 2019年3月期 19,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2020年3月期	—	27.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,872	10.5	10,356	13.7	10,094	15.5	6,805	14.8	178.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	39,325,320株	2019年3月期	39,325,320株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,127,066株	2019年3月期	1,261,981株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	38,146,904株	2019年3月期3Q	37,516,204株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善から個人消費は緩やかな回復基調にあるものの、工業生産の低調を背景とする企業収益の弱含みや2019年10月に実施された消費税増税後の消費者マインドの減退、大型台風の発生等の相次ぐ自然災害の影響により先行き不透明な状況となっております。

当社グループは、地方都市及び地方都市郊外の中低所得者層を主な顧客層として「新築」「中古」「賃貸」に代わる「第四の選択肢」を提供することを目指し、商品化が難しい築古の戸建物件をリフォームして、物件に価値を足して販売しております。

販売面においては、当第3四半期連結会計期間では、消費税増税前の9月に引渡しが前倒されたことによる反動や消費者マインドの減退、台風19号及び21号の発生により物件の案内や販売会の中止が相次ぎ販売活動が鈍化し、販売件数は大幅に減少いたしました。しかしながら、上半期の業績が良好であったこともあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比8.8%の成長となりました。なお、販売用不動産及び仕掛販売用不動産は、商戦期である2月、3月に向けて確保されている状態となっております。

利益面においては、長期在庫の販売の促進により前年同四半期と比較して売上総利益率は0.6ポイント低下いたしました。販売費及び一般管理費については、引き続きコスト意識を高く持ち運営をおこないました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績については、販売件数は4,315件(前年同四半期比7.2%増)、売上高は66,599百万円(前年同四半期比8.8%増)、営業利益は7,612百万円(前年同四半期比5.5%増)、経常利益は7,451百万円(前年同四半期比5.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,014百万円(前年同四半期比4.7%増)となりました。

なお、当社グループは中古住宅再生事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、47,712百万円となり、前連結会計年度末の45,058百万円から2,654百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が2,062百万円減少した一方、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が4,668百万円増加したことによります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、2,095百万円となり、前連結会計年度末の2,348百万円から253百万円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が13百万円、無形固定資産が146百万円並びに投資その他の資産が93百万円それぞれ減少したことによります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、7,606百万円となり、前連結会計年度末の7,964百万円から358百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が1,200百万円増加した一方、買掛金が107百万円、未払法人税等が1,135百万円並びに賞与引当金が217百万円それぞれ減少したことによります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、19,733百万円となり、前連結会計年度末の20,093百万円から359百万円の減少となりました。これは主に、役員退職慰労引当金が14百万円増加した一方、長期借入金375百万円減少したことによります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、22,467百万円となり、前連結会計年度末の19,348百万円から3,118百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を5,014百万円計上した一方、剰余金の配当2,020百万円を行ったことによります。この結果、自己資本比率は44.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,395	5,332
販売用不動産	25,652	28,372
仕掛販売用不動産	11,164	13,113
その他	846	895
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	45,058	47,712
固定資産		
有形固定資産	729	715
無形固定資産		
のれん	793	644
その他	29	31
無形固定資産合計	822	676
投資その他の資産		
その他	810	716
貸倒引当金	△14	△13
投資その他の資産合計	796	703
固定資産合計	2,348	2,095
資産合計	47,406	49,807
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,105	2,997
短期借入金	—	1,200
1年内返済予定の長期借入金	750	750
未払法人税等	1,995	859
賞与引当金	262	45
工事保証引当金	255	269
訴訟損失引当金	1	0
災害損失引当金	—	1
その他	1,593	1,482
流動負債合計	7,964	7,606
固定負債		
長期借入金	20,000	19,625
役員退職慰労引当金	62	76
その他	31	32
固定負債合計	20,093	19,733
負債合計	28,057	27,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,778	3,778
資本剰余金	3,640	3,640
利益剰余金	13,088	16,045
自己株式	△1,233	△1,101
株主資本合計	19,273	22,363
新株予約権	74	103
純資産合計	19,348	22,467
負債純資産合計	47,406	49,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	61,213	66,599
売上原価	47,194	51,714
売上総利益	14,018	14,884
販売費及び一般管理費	6,801	7,271
営業利益	7,217	7,612
営業外収益		
受取手数料	8	7
受取保険金	10	2
その他	8	11
営業外収益合計	27	21
営業外費用		
支払利息	145	140
その他	41	41
営業外費用合計	186	181
経常利益	7,057	7,451
特別利益		
固定資産売却益	0	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除却損	4	0
災害による損失	16	4
特別損失合計	20	4
税金等調整前四半期純利益	7,037	7,454
法人税、住民税及び事業税	2,330	2,321
法人税等調整額	△79	118
法人税等合計	2,250	2,440
四半期純利益	4,787	5,014
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,787	5,014

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	4,787	5,014
四半期包括利益	4,787	5,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,787	5,014

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

当社グループは、中古住宅再生事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

当社グループは、中古住宅再生事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、量的重要性が乏しいため、記載を省略しております。